

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【公開番号】特開 2004-248298 (P2004-248298A)
 【公開日】平成 16 年 9 月 2 日 (2004.9.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-034
 【出願番号】特願 2004-37062 (P2004-37062)
 【国際特許分類】

H 0 4 R 25/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 25/00 L
 H 0 4 R 25/00 M

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 2 月 15 日 (2007.2.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1】

ダイナミックレンジの低下による聴覚障害を補償するための多チャンネル・コンプレッサを備え、前記多チャンネル・コンプレッサはデジタル音信号を入力するためのデジタル入力と、増幅器に接続される出力とを有し、前記増幅器は周波数依存した聴覚低下を補償するために周波数の関数としてゲインが選択可能であり、かつ処理されたデジタル音信号を出力するための出力部に接続される補聴器。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 2】

前記増幅器は、複数の周波数チャンネルを有し、各周波数チャンネルの静的ゲインがそれぞれ選択可能な多チャンネル増幅器として構成され、増幅器の各周波数チャンネルは、前記コンプレッサの周波数チャンネルと異なる請求項 1 記載の補聴器。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 1 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1 3】

補聴器の出力パワーを制限するために設けられ、かつ前記増幅器の出力に接続される出力コンプレッサをさらに備える前記請求項の何れか一つに記載の補聴器。